

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 5月 30日

堺市長 様

提出者
住 所 堺市西区家原寺町1丁1番1号
氏 名 地方独立行政法人 堺市立病院機構
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
理事長 木村 正
電話番号 072-272-1199

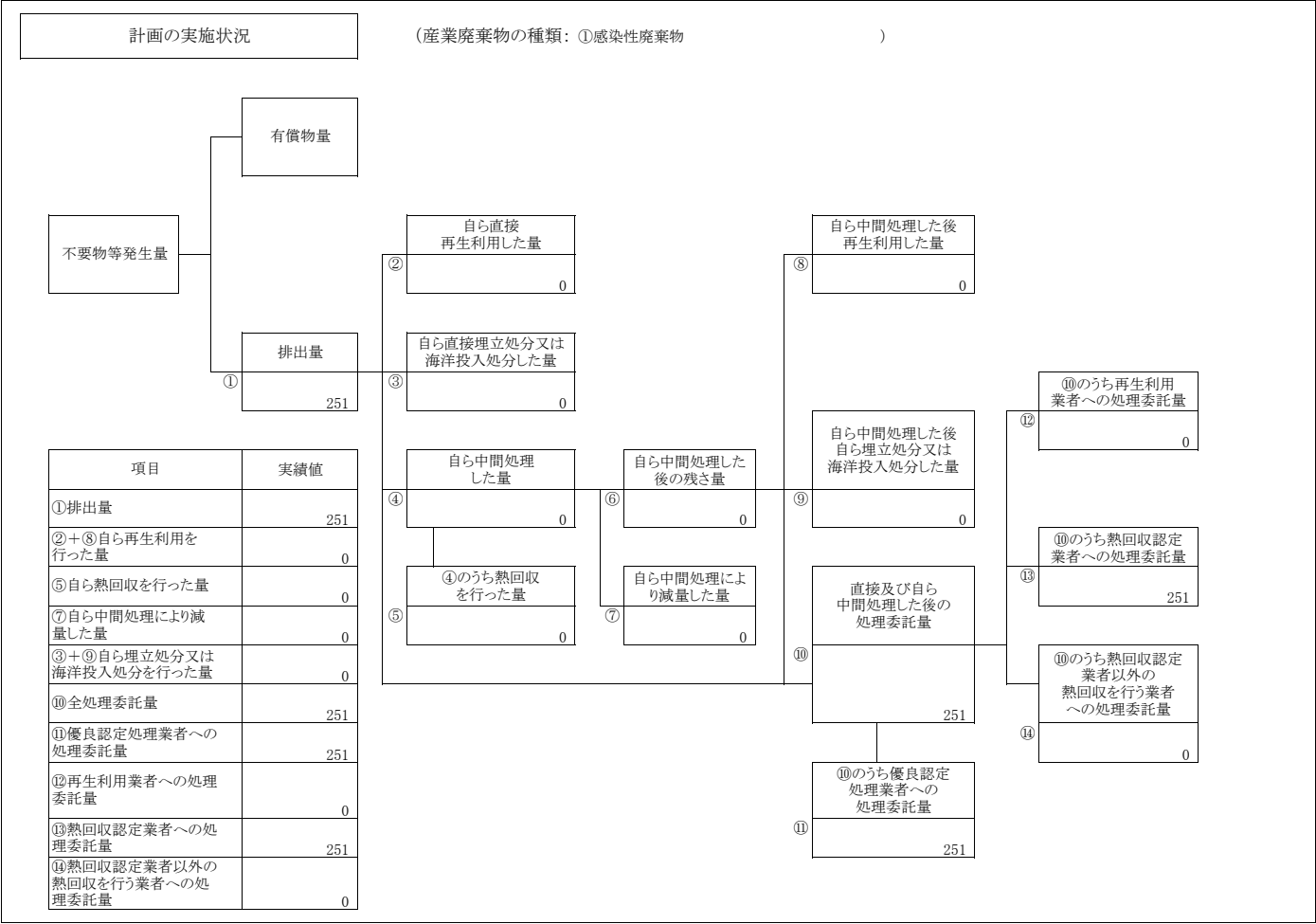
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、
令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
事業場の所在地	堺市西区家原寺町1丁1番1号
事業の種類	83:医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	237.26 t	全処理委託量	237.26 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	237.26 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書の【別紙】

送 出 先						
住 所	名 称	担当部署	担当人名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する責任者の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する責任者の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
堺市西区深津中町1丁目1番1号	堺市立総合医療センター	管理課				

特別管理産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										(※＝①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬)							⑭＋⑮	⑯＋⑰
コード	名 称	① 排出量	② 自ら直接再々利用した量	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量①	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち、中間処理を行った量	⑥ ④のうち、中間処理した後の残量	⑦ ④のうち、中間処理した後の廃棄物により減量した量	⑧ ④のうち、中間処理した後の廃棄物を利用した量	⑨ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量①	⑩ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量	⑪ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量	⑫ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量	⑬ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量	⑭ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量	⑮ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量	⑯ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量	⑰ ④のうち、自ら埋立処分又は焼却投入処分した量		
コード参照	特別管理産業廃棄物の種類	発生した特別管理産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量		
	① 感染性廃棄物	251															251	0		
	②																	0		
	③																	0		
	④																	0		
	⑤																	0		
	⑥																	0		
	⑦																	0		
	⑧																	0		
	⑨																	0		
	⑩																	0		
	⑪																	0		
	⑫																	0		
	⑬																	0		
	⑭																	0		
	⑮																	0		
	⑯																	0		
	⑰																	0		
	⑱																	0		
	⑲																	0		
	⑳																	0		
	合計	251	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	251	0		

(注1) トン単位は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2) 上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。